

2019 年度事業報告

1. 荒川クリーンエイドの運営

【事業の概要】

荒川水系全体で荒川クリーンエイドを運営した。ごみを拾うだけでなく、参加者が河川ごみによる環境負荷や発生原因等について学び、日頃からできるだけごみを生まない生活を実践するような啓発を充実させた。

【主な実施事項】

① 清掃活動（調べるごみ拾い）

2019 年も、荒川流域において清掃活動の実施と支援を行った。約 230 会場がエントリーし、190 会場で実施、延べ 1.2 万人が参加した（集計期間：2019 年 1 月～12 月）。

② 体験・説明会の開催

8 月に体験・説明会、4 月に体験会を開催した。初めて実施する団体、実施担当者が交代する団体には参加を要請し、運営方針や実施方法の周知を図った。

③ 主催・共催会場の運営

12 月にふるさと清掃運動会実行委員会、6 月、12 月に豪田ヨシオ部等との共催活動を運営した。様々な主体に荒川クリーンエイドを普及させた。

④ 実施の運営サポート

実施団体の要望に応じて、企業等を対象に実施の運営サポートを行った（約 50 団体）。

⑤ 「ごみをできるだけ生まないライフスタイル」の啓発 ～マイボトル持参の呼びかけ～

河川ごみの自然環境への悪影響や、ごみをできるだけ生まないライフスタイルについて考える機会を提供することを目的にマイボトルの持参を呼びかけた。

⑥ 河川敷利用者への啓発

走る広告塔「あらくりくん号」により活動を周知した。

⑦ 効率的な河川ごみの回収に向けた取り組み（三井物産環境基金）

河川ごみが溜まるメカニズムを調査し、より効率的な活動に関する結果を Web サイトに掲載した。

2. 生物多様性の保全

【事業方針】

里川創造プロジェクトについては、国土交通省荒川下流河川事務所の「荒川下流自然管理アダプト制度」に協力し、荒川クリーンエイドを中心に、楽しみ、学びながら都市の自然を守ることを目指し、他の市民団体、学校、企業等と連携して自然地の環境保全と普及啓発を進めた。

絶滅危惧種の復活プロジェクトでは、行政や地域の市民団体と連携して環境の再生活動を行った。

【主な実施事項】

① 里川創造プロジェクト

江戸川区小松川自然地においては、「里川小松川自然地協議会」の構成団体として、地域の市民団体や学校、企業と協働し、クリーンエイド、外来種の除草、自然環境教室等、自然地の環境保全とその普及啓発を推進した。荒川下流自然管理アダプト契約を結び、国土交通省と連携して実施した。

足立区千住桜木地区においても、荒川下流自然管理アダプト契約を結び、クリーンエイド活動を中心

に、環境保全活動を行った。

また、その他の地域についても、荒川クリーンエイド実施団体の要望に応じて、外来種の除草を行い、生物多様性の保全活動を推進した。

② 絶滅危惧種の復活プロジェクト

荒川河川敷のヒヌマイトトンボの成虫の生息場保全を目的に、行政、地域の市民団体等と連携して、生息環境の整備、および同種の生息個体数のモニタリングを実施した。

3. 環境教育の推進

【事業方針】

荒川クリーンエイド実施団体や地域の団体と連携しながら、人々が河川ごみの問題について学び、環境保全意識を高められるよう、荒川をフィールドとした環境教育を推進した。

人財育成プログラムについては、若者層への啓発の機会として、新入社員研修を中心に、社会性の向上・環境意識の醸成等を付加しながら実施した。

【主な実施事項】

① 学校教育の支援

小松川自然地・里川創造プロジェクトの一環として、小学校の総合学習の支援を行った。また、OLTVECTSと連携し、電子環境教育アプリ-地球そのなかを探ろう「荒川ステージ」-を更新中である。

② 人財育成プログラムの実施

チームビルディングを体験しながら河川ごみの環境負荷について学ぶ「環境に悪いごみ拾いゲーム」を中心に、プログラムをブラッシュアップし、新入社員研修を実施した。

③ 自然環境教室の開催と支援

クリーンエイドの一環として、希望する企業に対し、自然環境教室のプログラム運営を行った。

4. 水質調査の実施

【事業方針】

身近な水環境のモニタリングを通じ、水環境への関心を高めることを目的に、6月の「身近な水環境の全国一斉調査」に参加した。

【主な実施事項】

① 「身近な水環境の全国一斉調査」への参加

荒川本川及びその支川等での調査協力者を募集し、6月を中心に、調査を実施した。その調査結果を取りまとめ、全国水環境マップ実行委員会に提出した。調査項目は化学的酸素要求量COD（低濃度）とした。また、12月に開催された同実行委員会に参加し、調査活動の展開や運営等について協議した。

5. 流域連携

【事業方針】

荒川流域内の交流と、流域の課題の共有を目的に、源流域、中流域、及び下流域の団体と連携した活動を推進した。

【主な実施事項】

① 荒川流域再生プロジェクト

2020年3月NPO法人荒川流域ネットワークが中心に運営する「荒川流域再生シンポジウム」はCOVID-19の拡大防止のため中止となった。

② 埼玉県河川環境団体連絡協議会や川の再生交流会へ理事が参加

埼玉県内の河川団体が加盟する埼玉県河川環境団体連絡協議会（埼河連）や2月に開催された「埼玉県・川の再生交流会」（主催：埼玉県）に役員が参加、パネル出展した。

③ 荒川自然懇談会を通じた荒川下流河川事務所との協働

当フォーラム会員が多数参画する荒川自然連絡会と荒川下流河川事務所との間で、官民協働で開催されている「荒川自然懇談会」はCOVID-19の拡大防止のため中止となった。

④ 秩父森づくりの会の定例活動

源流域との交流を引き続き行っていくため、秩父市森づくり課が運営する「秩父森づくりの会」に入会している。

6. 他セクターや全国・世界とつながる活動

【事業方針】

全国の川や海で活動する団体とつながって河川ごみ問題の解決、発生抑制に取り組むことを目指し、業界団体、行政が進めるごみの発生抑制に向けた啓発に、データ提供等を通じて協力した。

【主な実施事項】

① 関連団体との連携

日本プラスチック工業連盟主催講演会での講演および情報共有。

② 海ごみ問題との連携 ～一般社団法人 JEAN との連携～

国際調査期間の荒川クリーンエイドのごみ調査結果を JEAN に提供した。調査データは国際海岸クリーンアップ（ICC）キャンペーンに報告され、世界の海洋ごみ調査と世界の海ごみ問題の解決に貢献した。

③ 長崎県対馬島現地視察

三井物産環境基金を活用し、対馬市を現地踏査した。

7. 広報・情報発信

【方針】

各種情報媒体で、主に次の目的の広報・情報発信活動を展開した。

- ・荒川クリーンエイドへの参加者・賛同者を増やす。
- ・会員・関係者間のコミュニケーションを促進し、情報や運営方針の共有を図る。
- ・河川ごみの発生抑制を目指し、調査データ等を活用した情報発信を行う。

【主な実施事項】

① Web サイト

興味を引く Web サイト運営に努めた。

② ニュースレター

会員・関係者との情報共有を図るべく、3月発行した（累計1,000部）。

③ Eメールニュース（アラマガ）

毎月初めに（年 12 回）配信し、各月の旬のニュースを届けた（各回約 1,000 名に配信）。

④ 報告集

ごみの調査データや活動の結果を集約した報告集を 3 月に発行した（1,500 部）。会員、行政、関係者および情報拠点等に配布した。

⑤ ポスター、リーフレット

実施団体が秋のクリーンエイド参加者を募集するツールとしてポスター 700 部、リーフレット 1 万部を作成した。実施団体、沿川自治体などに活用いただいた他、情報拠点や荒川下流河川事務所の協力により、駅のラック等にリーフレットを配置いただいた。

⑥ ソーシャルメディア

SNS を活用してタイムリーな話題を随時提供し、荒川クリーンエイドや河川ごみ問題への関心を高めた。

⑦ イベント出展

6 月江戸川区環境フェアに出展し、荒川クリーンエイドへの参加の促進、河川ごみの発生抑制につながる情報発信を行った。荒川クリーンエイド実施団体や情報拠点等が、イベント等で荒川クリーンエイドや河川ごみ問題について効果的に情報発信できるよう、紙芝居等の貸し出しを行った。

⑧ セミナー開催、外部講演

8 月表浜 BLUE WALK2019、12 月マテリアルライフ学会、2 月岩手県等にて講演し、河川/海洋ごみ問題等の情報発信を行った。

⑨ メディア出演

TV やラジオ等の取材を受けた（5 回）

8. 組織運営

【方針】

報告会及び連絡会を通じて、会員等とのコミュニケーションを活性化し、また、理事・運営委員会を通じて、より円滑な組織運営を図った。

【主な実施事項】

○報告会・連絡会の開催

2 月に報告会を開催し、活動の成果等について会員・関係者等と共有した。また功労者賞を贈呈した。報告会に併せ、会員・関係者と活動に関する情報を共有し、意見交換する連絡会を開催した。

○理事・運営委員会の開催

総会議案等について協議・決定するため理事・運営委員会を開催した。

○ファンドレイジング（資金調達）

企業の協賛事業活動を積極的に進め、自主財源基盤の強化に努めた。

お宝エイドやソフトバンクのつながる募金を活用し、気軽に寄付できる場を用意した。

2019 年度活動概要一覧

事業	活動名	実施月・会場等	概要
1 荒川ク リーン エイ ドの運 営	荒川クリーンエイド 2019	4月～3月	実施約 190、のべ 1.2 万人参加
	説明会・体験会	8月 足立区生涯学習センター 4月下平井水辺の楽校	活動の趣旨・実施方法の説明等
	主催・共催会場の運営	6月,12月 12月	豪田ヨシオ部と共催 ふるさと清掃運動会と共催
	啓発	クリーンエイド実施時、イベント時等	マイボトル持参、エコライフのすすめ
	実施サポート	随時	企業、学校等の依頼に応じて随時
	効率的な河川ごみ回収	随時	現地調査
2 生物多 様性 の保 全	里川創造プロジェクト	随時	小学校、企業等の活動支援
	絶滅危惧種の復活プロジェクト	5月～3月	地域団体、自治体等と連携
3 環境 教育	学校教育の支援	小松川自然地	沿川の小学校の環境学習支援
	人財育成プログラム	随時	新入社員研修、プログラム開発
	自然環境教室の開催と支援	随時	クリーンエイドの後に希望に応じて開催
	環境教育アプリ SOIL	随時	荒川や河川ごみ学習アプリ開発
4 水質 調査	身近な水環境の全国一斉調査	6月	水質調査
		12月	全国水環境マップ実行委員会出席
5 流域 連携	荒川流域再生プロジェクト	3月	シンポジウム（中止）
	埼玉川の再生交流会	2月	役員が参加、パネル出展
	荒川自然懇談会	2月	市民団体、河川事務所と協議（中止）
6 他セ クター や全 国・世 界と つな がる 活 動	関連団体との連携	3/18,9/9-10 随時	日本プラスチック工業連盟
	一般社団法人 JEAN との連携	随時	調べるごみ拾いのデータを提供 他
	対馬島現地視察	6月	漂着ごみ視察
7 広報・ 情 報 発 信	Web サイト、SNS	随時	随時更新
	ニュースレター	3月に発行	各 1,000 部制作配送
	Eメールニュース（メールマガジン）	毎月初め	各回約 1,000 人に 12 回発信
	報告集	3月発行	1,500 部制作
	ポスター、リーフレット(*)	8月発行	ポスター 7 百部、リーフレット 1 万部。参加者募集
	イベント出展	6月	江戸川区環境フェアに出展
	メディア出演	随時	テレビ、ラジオ等に出演（5 回）
8 運 営	第 20 回定期総会	5月 北とびあ	昨年度事業報告、当年度事業計画の協議等
	報告会・連絡会	2月 北とびあ	クリーンエイド 2019 成果報告、意見交換等
	理事会・運営委員会	4月、5月、7月	総会資料、役員等の確認

2019年度決算報告

法人名： 特定非営利活動法人 荒川クリーンエイド・フォーラム

活動計算書

2019年4月1日 ～ 2020年3月31日

(単位:円)

科 目	金 額		備 考
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	413,000		
賛助会員受取会費	135,000	548,000	
2. 受取寄付金			
寄付・協賛金	10,503,919	10,503,919	FITforCharityRun、BloombergL.P.、(株)丸井、小松川信用金庫、プラスチック循環利用協会、日本プラスチック工業連盟、足立成和信用金庫、日本財団、東京スター銀行他
3. 受取助成金			
受取助成金	1,483,615	1,483,615	セブンイレブン記念財団
4. 事業収益			
協賛事業収益	9,756,476		企業等サポートによる助成等
受託事業収益	9,471,660	19,228,136	荒川下流管内水辺等管理支援補助業務等
5. その他収益			
受取利息	260		
雑収益	609,190	609,450	講演謝金、原稿料他
経常収益計	32,373,120	32,373,120	32,373,120
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	12,973,123		
臨時雇賃金	142,700		
法定福利費	129,253		雇用保険
通勤費	461,420		通勤定期代等
福利厚生費	1,884,570		健康保険料・厚生年金等
人件費計	15,591,066		
(2) その他経費			
業務委託費	1,470,215		報告集・ポスター等デザイン、Facebookへの広告掲載料等
印刷製本費	185,340		報告集・ポスター
会議費	120,415		
旅費交通費	688,640		外出、出張旅費
通信運搬費	284,144		
資材・消耗品費	483,838		調査機材、活動消耗品他
備品・修繕費	170,795		カメラ機材工作他
地代家賃	792,000		事務所家賃・光熱費、駐車場代
減価償却費	781,220		
保険料	540,810		傷害保険、賠償責任保険、車両保険、中退共
租税公課	883,252		消費税等
研修費	58,200		刈払い講習等
支払手数料	8,042		振込手数料等
雑費	38,877		書籍
その他経費計	6,505,788		
事業費計	22,096,854	22,096,854	
2. 管理費			
(1) 人件費			
役員報酬	40,000		監事役員報酬
給料手当	644,400		管理スタッフ
福利厚生費	10,000		結婚祝い金
人件費計	694,400		
(2) その他経費			
会議費	15,100		賄い等
旅費交通費	36,620		
通信運搬費	4,340		
消耗品費	187,092		文具、コピー代、ガソリン代等
備品修繕費	33,898		PCドメイン料等
保険料	191,240		中退共等
諸会費	32,000		関連団体会費
リース料	220,320		複合機リース(セゾンリース)
租税公課	1,504		印紙
その他・雑費	115,123		税理士報酬等
その他経費計	837,237		
管理費計	1,531,637	1,531,637	
経常費用計	23,628,491		23,628,491
税引前当期正味財産増減額	8,744,629		8,744,629
法人税、住民税及び事業税	70,000		70,000
当期正味財産増減額	8,674,629		8,674,629
前期繰越正味財産額	34,010,940		34,010,940
次期繰越正味財産額	42,685,569		42,685,569

貸借対照表

2020年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	26,565,032	
未収金	17,205,956	
前払金	120,000	
立替金	0	
流動資産合計		43,890,988
2. 固定資産		
(1)有形固定資産		
車両運搬具	781,220	
(2)その他の固定資産		
出資金(未来舎)	200,000	
有形固定資産計	981,220	
固定資産合計		981,220
資産合計		44,872,208
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金	0	
未払消費税	478,300	
未払法人税等	70,000	
前受金	1,308,000	
預り金	330,339	
仮受金	0	
流動負債合計		2,186,639
2. 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		2,186,639
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	34,010,940	
当期正味財産増減額	8,674,629	
正味財産合計		42,685,569
負債及び正味財産合計		44,872,208

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

2. 固定資産の増減内訳

固定資産の増減は以下の通りです。

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
車両運搬具 SAMBER	1,562,440	0	781,220	781,220	1,562,440	781,220
合計	1,562,440	0	781,220	781,220	1,562,440	781,220

3. 流動資産のうち、7,740,000円は2020年度-2021年度の概ね2年間で支出するものとします。

法人名： 特定非営利活動法人 荒川クリーンエイド・フォーラム

財産目録

2020年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
手許現金	85,992	
普通預金(三菱UFJ銀行)	22,154,254	
ゆうちょ銀行	287,773	
楽天銀行	3,903,731	
郵便振替	133,282	
未収金		
関東地方整備局	9,207,000	
助成金等	7,998,956	
前払金		
通勤手当	120,000	
立替金		
雇用保険	0	
流動資産合計		43,890,988
2. 固定資産		
(1)有形固定資産		
車両運搬具 軽自動車	781,220	
(2)出資金		
未来舎	200,000	
固定資産合計		981,220
資産合計		44,872,208
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金		
未払消費税	478,300	
未払法人税等	70,000	
前受金		
年会費18件	98,000	
寄付等2件	1,210,000	
仮受金		
雇用保険 途中採用者分	0	
預り金		
源泉所得税	161,286	
健康保険料	49,233	
厚生年金	84,920	
住民税	34,900	
流動負債合計		2,186,639
2. 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		2,186,639
正味財産		42,685,569

令和2年4月22日

特定非営利活動法人
荒川クリーンエイド・フォーラム
代表理事 高山 亮 様

監査報告書

監事

菅谷 輝美



特定非営利活動法人荒川クリーンエイド・フォーラムの平成31（令和元）年度（平成31年4月1日～令和2年3月31日）の業務並びに会計の監査を行った結果、次のとおり報告します。

1. 監査の方法の概要

- ① 業務監査について、理事会等に出席し、理事からの業務の報告を聴取し、関係書類など必要と思われる資料の閲覧により業務執行の妥当性を検討しました。
- ② 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧により会計報告書の正確性を検討しました。

2. 監査結果

- ① 業務内容は適正であり、理事の職務執行に関して不正行為や規約に違反する重大な事実はないことを認めます。
- ② 活動計算書、貸借対照表、財産目録は帳票等の記載金額と一致し、当法人の活動及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、監事1名にて監査を実施しました。

以上